

第2期苫小牧市役所エコオフィスプランの運用実績（平成29年度）

苫小牧市役所エコオフィスプラン（計画期間：平成27年度～31年度）に基づき、市役所全施設の事務・事業活動に伴う温室効果ガス排出量及びエネルギー使用量を公表します。

温室効果ガス排出量は59,934 t-CO₂となり、基準年度に比べ9.6%減少しました。

（1）温室効果ガス排出量について

排出区分別温室効果ガス排出量

排出区分	温室効果ガス排出量		29年度		31年度（目標値）	
	25年度（基準年度）	t-CO ₂	t-CO ₂	増減	t-CO ₂	増減
エネルギー起源 CO ₂	42,337	42,337	42,957	1.5%	40,220	-5.0%
非エネルギー起源 CO ₂ *1	23,935	23,935	16,977	-29.1%	22,931	-4.2%
合計	66,272	66,272	59,934	-9.6%	63,151	-5.0%*2

※1 非エネルギー起源 CO₂は廃棄物燃焼による排出量です。

※2 目標値について、省エネ法でエネルギー消費原単位を毎年1%以上削減することが求められていることから、小数点以下を四捨五入し5%としています。

※ 電気のCO₂排出原単位は25年度（基準年度）の値を使用しています。なお、電気のCO₂排出原単位は1キロワット時の電気を発電したときのCO₂排出量であり、北海道電力㈱の値を使用しています。

<エネルギー起源 CO₂>

エネルギー起源 CO₂の排出量は基準年度と比べて1.5%増加しました。

主な要因として、気候による影響のほか、施設の移転に伴う施設面積の減少や設備の増加、施設の使用時間の増加などが挙げられます。

<非エネルギー起源 CO₂>

非エネルギー起源 CO₂の排出量は、市が収集した焼却ごみに含まれるプラスチックの燃焼から発生したもので、基準年度と比べて29.1%減少しました。

主な要因として、平成25年7月から開始した家庭ごみ有料化により、分別の意識が高まりプラスチックごみの焼却量が減少したことが挙げられます。

